

今月号は、地場産業活性化事業、インフラ整備、青少年野球大会の状況について取り上げました。また、“けんじの勝手考”では、特別思い入れのある「県立駒林特別支援学校」について書いてみました。これから寒さが一層厳しくなります。みな様ご自愛下さい。

## 阿賀野市民の安全・安心を確保し地場産業を発展させよう!!

新潟県議会議員 帆苅 謙治

毎年7月頃、関係官庁の方々と共に阿賀野市内各地を視察し、地域の課題や要望をお聴きし政策の実現に取り組んできたところです。昨年は、花角新潟県知事からも同行頂き各地を訪問致しました。

関係各位のご尽力もあり、早速、 笹神地区のえだまめ集出荷選別施設の建設、安田地区の瓦ロード整備が事業化されました。一日も早い完成が待たれるところです。

インフラ整備では、安野川等の治水対策、磐越道の4車線化、阿賀野バイパス建設も継続して進められています。

また、毎年の恒例行事となりましたが、青少年野球大会を今年も開催することが出来ました。今後とも、市民の安全・安心の確保と地場産業発展のために努力する所存です。

### 「JAささかみ」 えだまめ集出荷選別施設建設

有機農業に取り組むJAささかみでは、「えだまめ集出荷選別施設及びライスセンター建設用地造成外構工事」が下山屋塚田地内で進められています。10月初旬現在、3棟が見事に葺き上がっていました。道の駅と隣接する国土交通省の施設として、9月には、阿賀野バイパス道路休憩施設建築工事、駐車場舗装工事、トイレ等の設備工事、道路情報板設置工

### 「道の駅あがの」 建設工事進捗状況

9月号でもご紹介した「道の駅あがの」、10月初旬現在、3棟が建設中であり、屋根には安田瓦が見事に葺き上がっていました。道の駅と隣接する国土交通省の施設として、9月には、阿賀野バイパス道路休憩施設建築工事、駐車場舗装工事、トイレ等の設備工事、道路情報板設置工

### 第15回 阿賀野市「チャレンジ、ジユニアベースボール大会

6月27日、野球少年にとって憧れのハードオフエコスタジアム新潟において第15回阿賀野市チャレンジ・ジユニアベースボール大会が開催されました。来年も

皆さん のハッスルプレー 素晴らしきつたで かつたで す。来年も 頑張りま しょう!



水原野球場における開会式の状況

10月3日、青く澄み渡った秋晴れの下、恒例の第23回あがのスポーツ振興会野球大会が開催されました。14チーム242名のプレーヤーが4会場に分かれて行われました。

優勝はZHAT'S、2位は一期一会、3位はオール阿賀野40とDQSでした。

第23回あがのスポーツ振興会野球大会

熱戦の様子(みんなプロみたい)

「道の駅あがの」建設状況(10月3日撮影)  
下黒瀬から百津間の舗装工事が6工区発注されています。令和4年度の4年度の

バスターズ」、2位「VVS阿賀野」、3位「安田ジユニアジャイアンツ」でした。  
来年も、各チーム優勝を目指して頑張ろう!

事が相次いで発注されました。「道の駅あがの」と合わせ、素晴らしい施設が誕生するようです。

また、下黒瀬から百津間の舗装工事が6工区発注されています。令和4年度の

は「笹神は熱戦が繰り広げられました。優勝合、白球を追いかけて熱戦が繰り広げられました。優勝

## 市民の声

『楽しい、住みよい』が  
生涯続く阿賀野市に！

NPO法人阿賀野市総合型クラブ「スポーツ」土岐一希さん

(\*2020東京オリンピック聖火ランナー)

昨年より蔓延する新型コロナウイルスにより、1年延期となつた東京オリンピック・パラリンピックも無事に閉幕し、日本全国に感動を与えてくれましたが、本来であれば閉幕しても日本中が熱狂し、スポーツ関係団体は大いにスポーツ振興へ動くべき出発点・転機となつたことでしょう。

しかし、現在も感染症対策や様々な課題が山積みです。今後、新型コロナウイルス感染症への有効な医療体制が確立することを強く望みます。

さて、私は生業として阿賀野市で「スポーツを生涯にわたり行える環境」を整備するべく活動しています。子どもから高齢者までが一貫してスポーツ・運動を行え、楽しめるよつな環境を創りたいと思っています。

幼児期の運動遊び・基礎的な運動能力の向上から競技力向上志向、そして健康志向へと移り行く一連に対応しながら、

市の課題に対して各団体と連携・協働していきたいと思っています。

具体的に、幼稚園・保育園の運動遊びから小学校の体育授業、スポーツ少年団による専門種目の競技力向上、全国的な課題となる中学校の部活動の社会教育への移行、阿賀野高校の存続に向けた取り組み、さらに健康志向的な働き世代へのフオローと高齢者への転倒・介護予防がすべて一貫して取り組めたならどうでしょうか。

私は、現状維持は衰退への道であると考えます。阿賀野市ため、常に先を見据えて継続・循環させるように行動しています。

生涯、笑顔あふれて活気のある阿賀野市であることを切に願っております。

(\*2020東京オリンピックの聖火ランナーを務めました。)

## けんじの勝手考

帆苅謙治は、インフラ整備にだけ一生懸命のように思われている方も多いと思いますが、これまで「教育・福祉」の充実を最重要政策として取り組んできました。阿賀野高校の存続、維持、活性化対策もその

一つです。

今月号の「勝手考」では、私が心血を注いでようやく開校した駒林特別支援学校について述べます。以降の内容は、令和2年12月発行の新潟県立駒林支援学校創立十周年記念誌「希望の未来」に寄稿した祝辞です。ちよつと長いのですが、最後までお読み下さい。

## 【振り返って思うこと】

県立駒林特別支援学校創立十周年、誠におめでとうございます。

創立前を振り返ってみると、当時、阿賀野市の子供たちは隣接する新潟市を中心にお願いする形で、それぞれ入校させてもうつておりました。

しかしながら、新潟市が周辺市町村と合併し政令指定都市に移行する際、周辺自治体の子供たちを入れなければならず、定員増になる阿賀野市の子供たちまで面倒を見切れないと聞きました。

元々、阿賀野市のエリアは村上市というところであり、遠

い村上では?といつて大変困つてしまつた訳です。ハピネスの会や関係者がそら、初代本田市長や市議会そし支援学校設立をという強い要望がありました。当時、市長はなんとかして要望に応えた。県がためであれば貧乏市であつても対応せざるを得ない旨、私にも話されました。

今後とも、生徒、先生、保護者、地域が一体となり、そして卒業時には多くの生徒が社会で活躍できるよう努めしくお願い致します。

創立十周年を迎えるにあたり、今後ますますのご隆盛を祈念申し上げます。

ガンバレ  
新潟県議会議員 帆苅謙治

阿賀野市が元気になる、提案・意見をお寄せ下さい。

特定の思想・主義の主張や、他者への非難や批判ではなく、あくまでも建設的な内容に限りません。文字数は400字以内です。

ほかりけんじ事務所  
〒959-2221 阿賀野市保田 737-2  
TEL:68-5441 FAX:68-5515  
<http://www.hokaken.jp/>

活動動画を発信しています。  
大勢の方から沢山の反響を頂いています。  
QRコード

昨年、当校の卒業生が阿賀野市内の企業に就職し、今では正社員として立派に活躍していると聞きました。感無量です。頑張って本当に良かったと思う今日この頃です。

◎「ほかりけんじ・県政便り」は、新聞折り込みでお届けします。

更には、県教委の体制も平成十八年までは義務教育課程の中の障害児教育係だったものが、平成十九年には特別支援教育係に、平成二十二年からは特別支援教育推進室に格上げさせることができました。

振り返って考えますと、こ

こに至ることができたのは、ハピネスの会の切実な思いを市長はじめ関係各位が自分のこととして受け止め、努力したこと結果であり、忘れてならないのは駒林地区の皆さんのが地域の一員として家族同様にしてつきあつている」とだと思います。